

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	↗ 20	9	百日咳	→ 0	0
RSウイルス感染症	↗ 100	98	ヘルパンギーナ	↗ 10	7
咽頭結膜熱	↘ 8	16	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	↗ 18	8
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↗ 78	52	急性出血性結膜炎	→ 0	0
感染性胃腸炎	↗ 312	283	流行性角結膜炎(はやり目)	↘ 5	8
水痘	↘ 40	73	細菌性髄膜炎	↗ 1	0
手足口病	↗ 61	39	無菌性髄膜炎	↘ 0	1
伝染性紅斑(りんご病)	↗ 2	0	マイコプラズマ肺炎	↗ 5	3
突発性発しん	→ 38	38	クラミジア肺炎	→ 0	0
			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	→ 0	0

報告が多い感染症

- 感染性胃腸炎
- RSウイルス感染症
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

大きな流行が発生又は継続しつつある地域

手足口病：人吉

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(ロタウイルス)
熊本市保健所	3	29	1	36	43	7	19	2	18		2	1		5	1				
山鹿保健所					19		1		2				*	*					
菊池保健所		16	5	15	87	4	4		6		2	1							
阿蘇保健所					1								*	*					
御船保健所		1			11								*	*					
八代保健所		9		7	53	5	8		4								1		
水俣保健所		3			3	2			1			1	*	*					
人吉保健所		11		12	17	4	21					15	*	*			3		
有明保健所	16	2	2	1	61	7	3		5										
宇城保健所	1	28		6	11	10	3						*	*					
天草保健所		1		1	6	1	2		2		6						1		
計	20	100	8	78	312	40	61	2	38	0	10	18	0	5	1	0	5	0	0

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5 カ月	6~11 カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上	
インフルエンザ	20				2	2	1		1	3	2	3		2			3	1				
小児科定点年齢	合計	0~5 カ月	6~11 カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29							
RSウイルス感染症	100	19	20	39	16	4	1	1							20歳以上							
咽頭結膜熱	8	1	1	2	2		2															
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	78			1	3	4	11	13	16	6	6	3	11	1	3							
感染性胃腸炎	312	6	23	48	37	42	26	25	21	13	18	12	28	4	9							
水痘	40	1	3	12	5	6	4	3	3	1		1	1									
手足口病	61	1	2	24	19	2	8	3	1		1											
伝染性紅斑	2				1				1													
突発性発しん	38		14	23	1																	
百日咳	0																					
ヘルパンギーナ	10			3	4	2	1															
流行性耳下腺炎	18				3	1	1	3	4	4	2											
眼科定点年齢区分	合計	0~5 カ月	6~11 カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上		
急性出血性結膜炎	0																					
流行性角結膜炎	5						1								1	1					1	
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上					
細菌性髄膜炎	1																1					
無菌性髄膜炎	0																					
マイコプラズマ肺炎	5		2				1		1													
クラミジア肺炎	0																					
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0																					

今週は、県内において今シーズン初めて、有明地域からインフルエンザ様疾患による学級閉鎖の報告がありました。インフルエンザの報告も先週の約2倍と増加しています。県内では例年12月末からインフルエンザの流行が始まります。いったん流行が始まると、あっという間に大勢の方がインフルエンザに罹患し、1月から2月にかけてピークを迎えます。インフルエンザはすべての年齢の方が注意する必要があります。インフルエンザにかからないために、予防対策をしっかりと行い、感染を予防しましょう。

インフルエンザが
増加しています

予防対策

1. 流行前の予防接種
インフルエンザワクチンは、接種すればインフルエンザに絶対にかからない、というものではありませんが、ある程度の発病を阻止する効果があり、またたとえかかっても症状が重くなることを阻止する効果があります。特に基礎疾患のある方や高齢の方など重症化する可能性が高い方にはワクチンの効果が高いと考えられています。またインフルエンザを予防するためには、昨年インフルエンザワクチンを接種された方も、今年もワクチンを接種したほうがよいと考えられています。
2. 飛沫感染対策としての咳エチケット
インフルエンザの主な感染経路は咳やくしゃみの際に口から発生される小さな水滴(飛沫)による飛沫感染です。普段から皆が咳エチケットを守ることが大切です。
◇咳やくしゃみを他の人に向けて発しないこと
◇咳やくしゃみが出るときはできるだけマスクをすること
◇手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗うこと
3. 外出後の手洗い
流水・石鹸による手洗いは手指など体についたインフルエンザウイルスを物理的に除去するために有効な方法であり、インフルエンザに限らず接触感染を感染経路とする感染症対策の基本です。インフルエンザウイルスはアルコールによる消毒でも効果が高いですから、アルコール製剤による手指衛生も効果があります。



KKT医療ナビ!
Dr. テレビたん

KKT 医療ナビ! Dr. テレビたん

<http://www.dr-tvtan.jp/>

情報提供：熊本県健康福祉部 健康危機管理課